

○都市経営学研究科修士論文及び最終試験の審査評価基準について

福山市立大学都市経営学研究科

修士の学位の授与に関しては、学位申請者が提出した修士論文の主査1人及び副査2人による論文審査及び最終試験によって、次に示す評価基準に照らし総合的に審査する。審査員は、審査結果を審査報告書にまとめ、教授会に提出する。教授会は、審査報告書に基づき修士論文及び最終試験の可否を判定する。

【修士論文及び最終試験の評価基準】

1. 研究の主体性

学位申請者自身の単著であるとともに、主体的に取り組んだ研究の成果であること。

2. 研究テーマの適切性

研究目的が明確で、課題設定が適切になされていること。

3. 研究テーマの新規性

先行研究には見られない新規性があり、一定の説得力を有していること。

4. 情報収集の度合い

当該テーマに関する先行研究についての十分な知見を有し、立論に必要なデータや資料（海外の資料を含む。）の収集が適切に行われ、当該研究の位置付けを明示していること。

5. 研究方法の適切性

データ、資料、作品等の検討や分析等、研究の目的を達成するためにとられた方法が適切であること。

6. 論旨の妥当性

論旨が明快であり、論理的であり、かつ、説得力のある展開であること。また、設定した課題に対応した明確であり、かつ、独自性のある結論が示されていること。

7. 論文作成能力

全体が確かな表現力によって支えられた明瞭かつ平明な文章で論述され、要旨、目次、章立て、引用、文献表示、注、図版等に関して学術論文としての体裁が整っていること。

8. 研究倫理の遵守

研究計画の立案及び遂行、研究成果の発表並びにデータの保管に関して、適切な倫理

的配慮がなされていること。また、学内及び学会等の倫理規程や倫理基準等を遵守していること。